



SFTS、デング熱、つつが虫病・・・ダニ、蚊が媒介する感染症に気をつけよう

＜フタトゲチマダニ＞刺されたら、引っ張ったりせず速やかに医療機関を受診しましょう。



写真提供
国立感染症研究所昆虫医科学部

- 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の原因となるウイルスを持っていることがあります。
- 野生動物が出没する環境、裏山、畑、あぜ道に生息しており、ペットが付けて帰ってくることもあります。

＜ヒトスジシマカ(左) ネットイシマカ(右)＞虫よけ剤・服でバリア。肌を守ろう！



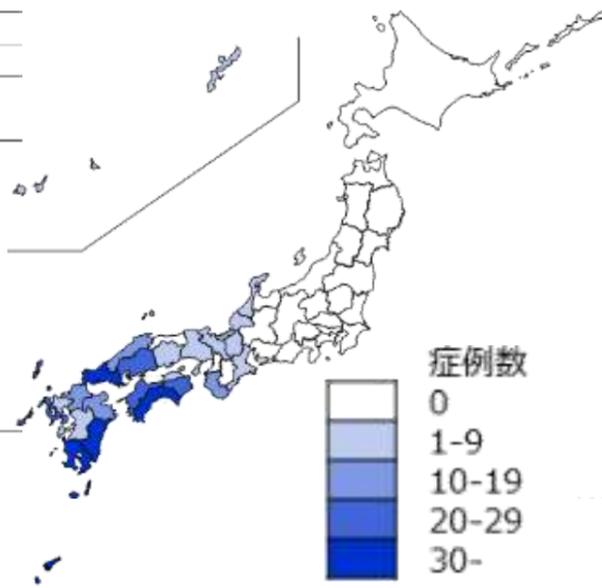
写真提供
国立感染症研究所昆虫医科学部

- デング熱、デング出血熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)の原因となるウイルスを持っていることがあります。

SFTS 症例の概要及び推定感染地域 (N=368, 感染症発生動向調査 平成30(2018)年7月25日現在)

	生存例	死亡例	合計
報告数	305	63	368
性別			
男	145	33	178
女	160	30	190
年齢			
中央値	73歳	80歳	74歳
～20代	3	0	3
30代	6	0	6
40代	8	0	8
50代	19	3	22
60代	86	11	97
70代	90	17	107
80代	79	28	107
90代～	14	4	18

図表：
国立感染症研究所
ウイルス第一部・感染症疫学センター



＜ツツガムシ＞刺された時の痛みはほとんどないと言われています。

- 肉眼ではほとんど見えないほど小さいので、衣類の隙間から入り込むことがあります。
- 従来とは異なり、最近では、年間を通じて、山菜採りや農作業でツツガムシに刺され発病する例が増えています。
- つつが虫病の病原体を保有していることがあり、感染すると、刺されてから5～14日後に高熱と発しんで発症します。もしも と思ったとき(ダニの刺し口がある、など)には速やかに受診しましょう。

マダニ・蚊・ツツガムシから身を守ろう！

- 上着や作業着を家に持ち込まない。
- 屋外活動後はシャワーや入浴でダニが付いていないかチェックする。
- 肌の露出を避ける(長袖・長ズボン・長靴等厚手の靴下)。
- 座るときは敷物を使う。
- 衣類を草むらに置かない。
- 草むらで休息や用便をしない。
- 昆虫忌避剤(虫よけ)を使用する(持続時間が限られるため、小まめにスプレー)。
- 飼育している動物が体調不良の場合、獣医師に診てもらう。



発生源を減らそう！

- 住まいの周りの水たまり、やぶ・草むらをなくす。(雨ざらしの用具、ブルーシートや古タイヤ、植木鉢の皿、空き缶、排水マスに注意！)



デング熱、ジカウイルス感染症、つつが虫病の報告数 (感染症発生動向調査 平成30(2018)年7月26日現在) <デング熱、ジカウイルス感染症の栃木県における報告は、いずれも輸入症例>

	平成30(2018)年累計		参考：平成29(2017)年	
	栃木県	全国	栃木県	全国
デング熱	0	71	3	245
ジカウイルス感染症	0	0	0	5
つつが虫病	1	93	0	439

コラム 県北地区で見られる蛇類について

県北地区で見られる蛇類として、アオダイショウ、ヤマカガシ、マムシが挙げられます。カエルがいる場所にカエルを食べるために出てくるのがよくあります。「アオダイショウは咬まないから」などと言って近づくと、そこにマムシ、ヤマカガシもいることがあるので、注意を要します。普通は、人が寄っていくと逃げていくもので、無理に捕まえようなどとしなければ咬むことは少ないようです。水田のあぜ道にも生息します。地域や季節により色が変わるので、見ただけで種類を区別するのは困難です。

関連情報：県北健康福祉センター感染症情報平成29(2017)年8月号外
(マダニ、蚊が媒介する感染症についての解説)

栃木県県北健康福祉センター健康対策課 感染症予防 TEL 0287-22-2679

ホームページからダウンロードできます。検索... 県北健康福祉センター センターからのお知らせ